

地方自治体入門を受講して

柳岡佳奈子

地方自治体入門を受講した理由は、もっと行政を理解し、より良い方向で自分の人生に活かして行こうと思ったからです。

私は今まで地方自治体に働いている人達はまじめな人達なので、任せておけば安心だと思っていたほうです。今まで興味のあったことは、自分の仕事や家庭、近所の人間関係です。特に子供が元気な明るい家庭は大切だと思っていました。

私は子供の元気な顔を見るのが好きです。そして心身共に元気で健やかな成長を願ってやみません。そのためにも子育て教室やサークル等参加しました。しかし母親達の話を書くにつれ、いろいろな悩みを知りました。自分にも共通する悩みもありましたが、一体どうしてそれら悩み事が起きるのか疑問に思いました。

子育て中の母親達が安心して子育てできる環境が願いとなりました。それには様々な人と共に考えて行く必要性をとて感じました。そこで様々な人と接し社会の発展を支える行政に関心を持つようになってきたのです。

私は社会科は嫌いではないけれども苦手な方です。それは何故か今まで考えた事はありませんでした。

私の場合、学校の社会で学習したことは、ただ受け身にならただけの生きて来ない知識で表面的な理解に止まっているようにしか感じられません。

私が育った地域はとても平和で、育成会も盛んな所です。地域の人達は温かくていい人たちです。だから、子供の時は、例を上げれば、議会解散なんて内容の勉強なんてとてつもなく関係がないように思えず興味があまりわきませんでしたし、自分と社会とのかかわりのなかで行政の分野が遠く思えました。しかし今にして思えば大人の社会の出来事は子供には伏せていたのだろうと思います。

わたしが、もし、子供のころ行政関係に興味を持つ可能性があったとしたら、よりよい育成会を作るにはというテーマがよかったと思います。楽しくて学校ではできない体験をたくさんできたことには、本当に感謝の限りですし、私の人生にとてプラスになっています。

今回の地域自治体入門の授業を受けて、痛切に感じたのは本やHPに書いてないことで知る必要のあることが私にはかなりあるということです。

より良い社会の発展には一部の人々だけではなく、そこに住む人々の理解と協力がいるのは誰でも感じることです。しかし、皆いい方向は分かっている、協力

できない状況になるのはなぜか、それを行政はどう把握し、計画し、配慮あるものとするのかについて、特に地方自治体のやり方に非常に興味を持った所です。しかし、まだよく分からないことは多いです。

公共を支える民の本には国の方で自立した地方自治を目指してさまざまな計画が練られ実行、そして修正されてきたのは分かりました。進まない部分はどのようになのかは確かに税金の問題は難しいですが、それは、でも、はっきり分かる方の問題ではあると思います。

皆が安心してらせる社会のために地方自治体の関係者は、いつも努力していると思いますが、一体何があるのでしょうか？